

ステップアップ!!

〈大学入試編〉



部活動を引退して受験勉強にいいよ本格的に取り組み始めた高校3年生も多いのではないだろうか。夏休みは最も学習量・学習時間が確保できる貴重な時期です。第1志望校合格に向けて何が必要なのかをしっかりと考えて、7、8月の学習計画を綿密に立てましょう。計画がないまま学習を始めてしまうと、せっかくの貴重な時間を無駄に過ごしかねません。

A. 難関大志望者は夏から

夏に過去問演習を
受験勉強に過去問演習が必要なことは皆さんご承知
の間では、過去問演習に夏から取り

今週のポイント

- ・ 難関大志望者は10年分の過去問に取り組み
- ・ 基礎固めの時間と過去問演習の時間を計画に取り入れる
- ・ 基礎固めは夏前に徹底的に

Q. 過去問演習に取り組む時期は

組むことはもはや常識となつていきます。

演習前に基礎固め

では難関大を目指す全ての受験生がいきなり過去問演習に取り組めば、誰でも第1志望校合格を勝ち取ることができるとは、誰にもできません。夏から過去問演習を中心に取り組むことができる人は、夏前に徹底的に基礎固めを行っています。

組んでも成績が上がることはありません。この夏から本格的に受験勉強に取り組み時間が取れるようになった方は、まず基礎固めから取り組みましょう。

計画はバランスを

基礎がない状態で第1志望校の過去問演習だけに取

しかし入試までの期間は誰もが同じです。夏から過去問演習に取り組んだ人は取り組まなかった人と比べて合格により近づくことになり。基礎固めが十分でない難関大志望者も、基礎固めの時間と過去問演習の時間を夏休みの計画にきちんと取り入れましょう。



過去問演習の一番の目的は、志望校の出題傾向や時間配分をつかむことです。基礎固めと過去問演習をバランスよく取り組み、充実した夏を過ごしてください。そのためにはまず夏の学習計画を。
(CG高等館東進衛星予備校)